

自分にとっての転機、

どう見極めればいいのか？

”その選択が、自分の成長につながるかどうかが鍵

“

「身の回りに変化が起きたら、まずは自分で思っている方向で、それが正しいかどうかで判断する。それが一番いい。キャリアアップやセールの維持や強化などは、自分の成長につながるかどうかで判断する。」

「外部的要因で、たとえば「上司」や「相手が悪い」「異動が嫌」など、不満が湧くだけでは行動を起こすことができません。まず、目の前の不満を改善する方法を考えて、改善していきましょう。」

「結婚はどうあれ、改善に向けて努力するのは自分自身で成長させることです。」



キャリアカウンセラー
藤井祐子さん
株式会社キャリアエール代表。述べ7000人以上のキャリアカウンセリング実績をもつ。著書多数。

「短期的プランを考えてみることで、今よりよければいい」ではなく、長い目で見て、「一生適用できる経験やスキルを身につけておきたい。」
「この経験がこんな仕事に生きていくのに役立つ」というイメージを描いておいて、計画通りに進ばなくても、書き進めしても、大切にしたい軸を明確にしておけば「ゴール」に近づいていくでしょう。」

転機を生かした転職成功例

リストラにあったのを機に、「やりたいこと」を見つけた

大手企業の事務職だったAさん。仕事にはやりがいを感じていなかったけれど、福利厚生は魅力的だったので、定年まで働くつもりでした。ところが業績悪化でリストラの対象に。転職活動を進めながら、安定性や収入を度外視して考えてみて、本業にやりたいことに気付く。今は販売職として仕事を楽しんでいる。

結婚後のキャリアを見え、経験の幅を広げた

専門分野の事務職としてキャリアアップをめざしていたBさん。しかし結婚したのは全国転勤がある男性。そこで、専門性にはこだわらず、どの土地にでも通用できるスキルを身につけようとして決意。今は営業や接客も経験し、幅広いスキルを身につけている。

Case#1



転機の見極め 西倉さん(31歳)の場合

自校はアルバイツ販売のアルバイト。仕事を続けながら整体スクールに約1年間通い、技術を習得。卒業後、スクールの就職ネットワークを活用し、提携先の整体サロンに就職。

ふと立ち寄った整体サロンで「一生の仕事」を発見

アルバイト販売のアルバイトをしていたんですが、20代後半になると将来への不安が強くなってきて。「このままで大丈夫かな」と悩みつづけて。どうしてもいまいかかわらずに過ごしていました。そんなとき、たまたま行った整体サロンで20代の女性整体師に会ったんです。イキイキと働く姿を見て、整体師の仕事のことを調べてみると、年齢やライフスタイルに応じて働き方を変えたいのを知り、自分の将来のイメージが見えてきました。翌年にはスクールに入塾し、卒業後すぐに就職。いずれは自分のお店を開くのが目標です。

取材協力 東京MTC学院 <http://www.tokyomtc.jp/>

27歳

丁寧な施術を受け、人を癒す仕事の魅力を感じる

立ち仕事での足の疲れがスッキリ解消。人の役に立ち、喜ばれる技術と同年代の女性が身につけていることに心を動かされた。「手に職をもつ」という道を真剣に考えるように。

不安な気持ちを抑えつつ養成スクールに入塾

「度れそう」「未経験から始めて就職できるのかな」という不安はあったが、「今の生活を超える不安に比べれば将来の希望が見える」と決心。仕事帰りや休日に通学した。

28歳

意図せず不安がいても始まらない。まずは調べてみて、確かな情報をつかむ



